

令和6年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

農林課

1 施設の概要等

施設名	府中市地域産物加工販売施設		
所在地	府中市上下町矢野662番地		
設置目的	地域の林業振興と地場資源活用による地域特産物の加工販売の促進		
施設・設備	地域産物加工販売施設ほか		
指定管理者	R6.4.1	～	R11.3.31 (有)ジャパńクリーンサービス

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)		
	R4	人	2,467 人	人	人		%
	R5	2,467 人	3,041 人	574 人	574 人	123.3	%
	R6	2,642 人	2,339 人	-702 人	-303 人	88.5%	%
	R7	2,774 人	人	人	人		%
	R8	2,913 人	人	- 人	人		%
増減理由	併設する矢野温泉公園四季の里の利用者減少に伴い、前年度より利用者数が減少したと考えている。 そば処四季にはファンが多く、リピーターとしての利用は堅調。						

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	実施なし	
	【主な意見】	【その対応状況】

4 市の業務点検等の状況

項目					実績	備考
報告書	年度				○	事業報告書
	月報				○	月次報告書
	日報(必要随時)				×	
管 理 運 営 会 議					【特記事項等】	
3 回 会場 市役所					・運営上で協議が必要な事項が発生した際は、随時に協議を行い解決した。	
現 地 調 査 (実 施 月)					【指定管理者の意見】	
					・修繕発生時や運営に疑義が生じた都度に協議を実施している。	
1月	2月	3月	4月	5月	【市の対応】	
○	○	○	○	○	設備の破損故障等が生じた場合は、現地調査を実施。	
6月	7月	8月	9月	10月		
○	○	○	○	○		
11月	12月					
○	○					

5 市委託料の状況

(単位:千円)

市 委 託 料 (決 算 額)	年度	金額	対前年度増減	料金収入 (決算額)	年度	金額	対前年度増減
	R4		-		R4		-
	R5	7,013	7,013		R5		
	R6	7,216	203		R6		
	R7				R7		
	R8				R8		

6 管理経費の状況

(単位:千円)

項目		R5決算額	R6決算額	対前年度比	主な増減理由等
委 託 事 業	収入				
	市 委 託 料	7,013	7,216	203	物価高騰・人件費高騰のため
	料 金 収 入			0	
	そ の 他 収 入	4,069	2,006	-2,063	R5は市電気高騰支援金を受給したため
	計 (A)	11,082	9,222	-1,860	
	支出				
	人 件 費	5,780	6,146	366	観光協会出向者への給与支払い実績
	光 熱 水 費	590	826	236	電気料金等の単価高騰による増加
	設備等保守点検費		416	416	電気料金等の単価高騰による増加
	清掃・警備費等			0	
	施設維持修繕費	25	656	631	
	事 務 局 費	968	621	-347	
	そ の 他 支 出	2,069	557	-1,512	
	計(B)	9,432	9,222	-210	
	収支①(A-B)	1,650	0	-1,650	
自 主 事 業	収 入 (C)		2,006	2,006	
	支 出 (D)			0	
	収支②(C-D)	0	2,006	2,006	
合 計 収 支 (① + ②)		1,650	2,006	356	

※1 利用料金制

公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。

指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業

指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者	市の評価
総括	・地元産そば粉にこだわり、社員による、手打ちそばのレストラン運営、そばこの販売を行っているが、競合地域も多くあり、上下町産のそばの魅力をどのように消費者に届けるかが課題。出来れば、そばの収穫から加工、試食に至るまでを学習教材にして、若い層に地域農業について理解を求める仕組みを作りたい。現状では、そばにかかわる方々は高齢化が進み、このままではせっかくの素材が失われる事態にもなる。小学校や中学校、高等学校で地域の体験学習の場として「そばづくり」に理解を求めたい。	・地元栽培のそば粉を利用したそばの提供も好評であり、自主事業展開が評価できる。 ・隣接する四季の里でのイベントと連携するなど、施設利用者数の増加を図ること。 ・引き続き、地元町内会と連携し、各種イベントを盛り上げて行くこと。 ・そば処四季の営業が土日祝日しか行われていない上、木工作業室、木工作業機械を活用した事業が行われていないことから、施設が十分活用できていない。 民間のアイデアやノウハウを導入し、利用促進、誘客に向けた取組を検討すること。 ・報告等を速やかに行うこと。

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	市
課題と対応	・そば栽培ほ場の確保、月1回～3か月に1回「四季の里そばの日」を新設して、予約いただいたそばを各家庭にお届けし、繰り返しブランドイメージを高める取組を進めます。年3回のイベントに、常に、そばを題材で取り上げる内容を加え、小中学生も地域農業の実態を学習した成果が発表出来るよう、学校や地域との強固な信頼関係を築いていきます。	・地域の「営農法人」などと連携し、地域農産物を体験する(作る、食べる、販路を拡げる)事業を企画、展開すること。 ・矢野温泉公園四季の里とともに、地元上下町内の小・中と連携し、提案されている取組を実施すること。 ・木工作業室、木工作業機械を活用する事業の提案。 ・事業の進捗管理。 ・利用者ニーズの正確な把握。